

小規模小学校特認校として

- 白木谷小学校では小規模の学校及び地域の特性を生かし、中山間地の人々、緑あふれる自然環境、文化などその地域の風土に触れるなかで、心身の健やかな成長を促し、豊かな人間性を培い、明るく伸び伸びとした教育を希望する児童・保護者に、一定の条件を付して入学を認める制度として小規模小学校特認校となっています。
- スクールバス…通学のために、スクールバスを運行しています。ただ、運行上の時間的制約等により、出発地、昇降場所について決めておりますので、その場所までは保護者の送迎が必要になります。スクールバスを利用せず保護者の送迎で通学する場合は、無理のない範囲でお願いします。



【食育・農園体験】

毎年、近くの田をお借りして、地域の方やJAの方のご指導を得て、稲作体験を行っています。田起しや代掻きは高学年が、田植えや稲刈りは全校で取り組みます。また、学校花壇等を活用し、栽培活動も積極的に行っています。土を耕し、命を育てることが、心を耕すことにもつながっていきます。



稲作体験



学級の栽培活動

【一人一人がいきいきと学ぶ授業の創造】

一人一人に指導が行き届き活躍の場がある小規模複式学級の特性を生かして、算数科を中心に授業研究に取り組んでいます。○一人一人が安心できる学級づくり、ユニバーサルデザインの授業づくりにも取り組みます。○複式学級では一人一人が考え、自主的に学ぶとする子どもを目指します。



【防災教育の目標】

「南海トラフ巨大地震が、いつどこで発生しても、子どもたちを一人も死なせない」ため、また地域・保護者と連携した取り組みを進めて、全ての人の命と安全を守るために、防災教育に取り組んでいます。



白木谷・八京地区防災学習の集い

心豊かな子 たくましい子 考える子

白木谷小学校

南国市北部に位置し、南北共に傾斜のきつい山に挟まれた静かな山間の学校です。筍、四方竹など地域の特産品は、この自然とこれまでの地域の方々の努力で生み出されてきたものであり、その自然豊かな環境のもと、地域と共に学校行事・地域行事に取り組んでいます。全児童数30名。みんな大変元気で、一人ひとりの豊かな個性と笑顔が魅力です。平成23年度からはコミュニティ・スクールとしてスタートし、地域・保護者・学校が一体となり子どもたちの健やかな成長を見守っています。



【学校教育目標】人間性豊かな白木谷の子どもたちの育成

【研究主題】一人一人がいきいきと学ぶ授業の創造

～自分の思いや考えを伝え合い、
学び合う子どもを目指して～

地域と連携した教育活動

地域、学校、保護者が一体（PTA、学校運営協議会、白木谷・八京地区防災実践委員会等）となって協議しながら地域と連携した教育活動を行っています。

地域に学び、地域のよさを知り地域に働きかける活動、また、地域の教育力の活用を図り、地域も活性化していただける取り組みを目指しています。活動を通して、地域を誇りに思うことや特認児童にとっては第2の故郷として認識してもらえること、また、生きる力にもつながる体験となることを期待しています。



【夏休み 親子図工教室】

夏に、白木谷国際現代美術館の武内先生をお招きして、親子図工教室を開催しています。保護者・兄弟姉妹も参加して楽しく工作ができました。



【ゆめファクトリー見学・体験】

地域産業の四方竹の加工体験です。



【たけのご掘り】

春、地域の方に筍林を開放していただき、たけのこを掘ります。



【がんばりっこ料理教室】

1学期末に、食生活改善グループの方の指導のもと、地域食材の活用や、地域料理、防災食などを調理し、食べます。

